

こうれん ふくい

も く じ

第34回福井県公民館セミナー〔前期〕報告……1~3
 特集 公民館訪問
 坂井市加戸・公園台コミュニティセンター……4
 永平寺町松岡公民館……5
 第72回福井県公民館大会報告……6~7
 令和5年度表彰受賞者……8

第34回福井県公民館セミナー〔前期〕報告

若者の 「やりたい！」を 叶える公民館



令和5年8月9日（水）鯖江市立待公民館 参加者74名

第34回福井県公民館前期セミナーは、「若者の「やりたい！」を叶える公民館」をテーマに、鯖江市立待公民館にて開催しました。今年度のセミナーでは若者たちと直接話してみたいという声があがったことから、県内の大学生や高校生の協力を得て、お互いの本音を語り合い、若者世代と地域活動の結びつきについて考えました。



高校生・大学生とともにグループ別討議 ▲



講師 内山秀樹氏 ▲

▼ 討議内容の発表

学生の多くは、普段は公民館にあまりなじみがないことから、講師の仁愛女子短期大学名誉教授 内山秀樹氏は「公民館って何？これからの公民館に求められること」と題した講義の中で、まずは公民館の歴史や概要について触れ、さらに、これから期待される公民館像や変化しつつある公民館の役割、地域づくりの重要性を強調されました。

講義の後、参加者はそれぞれ学生を交えた8つのグループに分かれ、若者の意見に耳を傾けつつ、公民館への興味関心や事業への参加検討などについて熱心にディスカッションしました。（次ページへ続く）



各グループの討議に参加した学生からは「公民館が何をしているのか分からない。」「公民館に若者向けの企画がなく、行きたいと思わない。」などという意見が数多く出され、若者の公民館に対する認識が限定的で、公民館から発信する情報があまり届いていない実態が浮き彫りになりました。そのうえで、どうしたら若者は公民館の存在を理解し、公民館と関わるようになるのかを模索しました。

討議内容の発表では、学生から出された意見として「スポーツのパブリックビューイングなどを年齢を超えてできるようなスペースがあるといい」「推し活など若者向けの活動を展開し、同時に高齢者にも関心を持ってもらう」など、斬新なアイデアが次々と提案されました。また、対象層を絞ってSNSで発信する方法や、企業・学校との連携強化により将来の進路につながる工夫など、若者のエネルギーを呼び込む仕組みづくりの提案が各グループから出されました。

今回のセミナーを通して、将来、地域のリーダーシップを担う若者たちの率直な意見を聞くことができ、今後の公民館活動の取り組むべき課題を明らかにする貴重な機会となりました。若者側にとっても「大人から必要とされていることが分かったのでこれからは参加していきたい」「公民館の職員さんが地域の方々のつながりをつくってくれる人脈を持っていることが分かった」などの声聞かれました。

最後に講師の内山氏から、人は『どこかで誰かに必要とされていること』をよりどころとして生きているのであり、地域や公民館は、そういった場をつくる担い手として、社会において重要な存在であると述べられ、セミナーは閉幕しました。



ふりかえりシートより

講義について

- ◇ 公民館の役割のふりかえりができた。
- ◇ 「住民の心起こし」心を動かすことなくまちづくりはできないことを再認識させていただきました。
- ◇ まちづくり活動の成果は何をもって計るのか。目に見えないのでわかりづらいが、住民同士の心のつながりになったり、地域への関心度が上がったなどムダということは絶対はない。
- ◇ 「人が地域の話をするようになる」ということが、地域づくりの一つの成果。人口や公民館の利用を増やすことを考えがちなので、視点を変えてみようと思った。
- ◇ 「何もないことのぜいたくさ」地域のことをよく知り、地域の資源を磨いていきたいと思った。
- ◇ 住民がわが町に誇りを持つことが大切！
- ◇ 人材発掘にはチラシや SNS もいいが、実際にやる気のある人を見つけて一本釣りするのが効果的。
- ◇ 地域を大切に、育てていくのは若者である。中・高・大学と共催して活動ができるようになるとうい。

学生との対話から

- ◇ 生の若者の声が聞けてとてもよかった。「若者のやりたい」を尋ねる前に、公民館の存在、役割等をもっと広く発信していくべきだと思いました。
- ◇ とにかく知られてなさを何とかしないといけないと感じました。
- ◇ 若い世代からは意外な意見も出てくるので面白かったです。プリクラやゲームがあればという意見、大人からは出ない発想です。
- ◇ 「就職や進学にメリットのある活動をしたい」最近の若者はたいへんだなあ…と驚きました。公民館での活動が進路につながっていると活動しやすい…とても参考になりました。
- ◇ 「公民館に匿名性がほしい」というのは斬新だと思いました。
- ◇ 低料金で使用できることが意外と知られていない。
- ◇ 公民館を知ってもらえる手段は今はやっぱり SNS。しかし、その発信のやり方が大切！
- ◇ 「紙のチラシは見ない」高校に配っていたチラシは見られていなかったことが分かった。チャットで告知ができないか検討したい。
- ◇ 地域活動を積極的にされている学生さんの話に勇気づけられました。メゲずに若者事業に取り組んでいこうと思いました。



高校生からも感想が
寄せられました！



私は、公民館と関わりがあまりなく、今回参加するってなった時も公民館の事を知らない私が行っても大丈夫なのか心配でした。しかし、講義を聞いて、私が知らないだけで色んな工夫や努力をされていることを知ることができました。そして、グループで話し合う機会がありましたが、正直私は、大人の方が若い人を求めていることは知っていましたが、本当にそうなのかな？とと思っている部分もありました。公民館は大人が使用するイメージがあったので。でも、グループトークで色んな公民館の方が本当に若い人に公民館を利用してほしいと思っていることがすごく伝わりました。そして、皆さんとても熱意のある方ばかりで、地域のために沢山悩んで考えられてる姿に、高校生として参加して、今までの考えがすごく申し訳ない気持ちと同時に、こんなにも若い人を必要としてくれる人達が沢山いてくれることを知ってすごく嬉しい気持ちと、何か今後機会があったらお手伝いしたいなと心の底から思いました。こんなにも、悩んで一生懸命考えてくれているのに、今の若い人達がそのことを知らない事がすごくもったいないなと今回参加して思いました。またこういう機会があったら是非参加したいと思いました！ 本当に今回はありがとうございました。とても良い時間でした。

坂井市 加戸・公園台コミュニティセンター

〒913-0002 坂井市三国町加戸第136号7番地7 電話 0776-82-0356



子ども節分会



イルミ de 夜の水族館

加戸・公園台(かど・こうえんだい)コミュニティセンターは、えちぜん鉄道水居駅から約2.5キロ北に位置し、周囲に水田や丘陵畑が広がる自然豊かな地域にあります。古くからの農村地帯である加戸地区と、45年ほど前に新興住宅地として造成された公園台地区にまたがる広範囲な地域に約4700人が暮らしています。なりわいも生活環境も異なる両地区の住民の交流や活性化を図るため、コミュニティセンターが拠点となって各種イベントやまちづくり活動を行っています。

春のいちご狩り、夏の七夕子ども縁日、秋の加戸・公園台まつり、冬の子ども節分会といった四季折々のイベントは、まちづくり協議会が主体となって実施され、どれも大勢の人で賑わいます。今年の七夕子ども縁日には150人もの子どもが集まり、200食用意したポップコーンや綿菓子もあつという間になくなるほどの大盛況でした。



コミュニティセンター前の「おもてなし花園」



ふれあい農園

地域をおもしろく！ 賑わい創出事業

コミュニティセンター前には、「おもてなし花園」と「ふれあい農園」があり、季節に応じた花や野菜が植えられています。取材時には「おもてなし花園」いっぱい、にケイトウ、ジニア、観賞用トウガラシなど色鮮やかな花が咲き誇り、ひととき目を引いていました。また、「ふれあい農園」では一寸そらまめや、かぶ、ジャガイモなどを植え、春と秋には地元の幼保園やこども園の園児たちを招いて収穫体験を行っています。

また、花が咲かない冬場でも来館者の目を楽しませるのが「イルミ de 夜の水族館」。海が近いことから様々な海の生き物を形どった飾りを配置し、壁面のイルミネーションは小学生の図案を元に作成しており、地域に活力を生み出しています。

長く楽しめる ひまわり30種！

コミュニティセンターの近くには約30万本のひまわりが見られる人気の観光スポット「池上ひまわりパーク」があります。コミュニティセンターにも問い合わせがくるようになりましたが、花の見頃は一般的に7月～8月中旬であるため、8月下旬以降の問い合わせには残念ながらお知らせをせざるを得ませんでした。

そこで、ひまわりを見逃した方のためにコミュニティセンター前の「おもてなし花園」では9月頃まで花を楽しめるよう種まきの時期を7月半ばにずらし、また、豊富な種類のひまわりを植え付けることで、より楽しんで鑑賞できるように工夫しました。今では3000本30種を超えるカラフルなひまわり畑となり、年々認知度も上がってきています。

「よく、大変だねと言われるけれど、自分が楽しいと思えることをしているんですよ」と話す萬道センター長の笑顔が印象的でした。



萬道センター長

永平寺町 松岡公民館

〒910-1117 吉田郡永平寺町松岡神明1-129 電話 0776-61-7222



松岡公民館は、永平寺町の中心に位置するえちぜん鉄道松岡駅出口から西へ徒歩約2分のところにあります。公民館の正面玄関から見える松岡駅は、昭和17年頃に建てられたレトロな駅舎で、国の登録有形文化財となっています。

玄関先では高くそびえ立つひまわりが大輪の花を咲かせ、館内の至る所に掲げられる「笑顔」の文字が象徴するように、元氣いっぱいな職員の笑顔と明るい声掛けであふれる松岡公民館では、「つどう・まなぶ・むすぶ」の原点に戻った事業を展開しています。

「大丈夫!」と思っただけでやらないと人は集まってくれない」と語るのは、堀江館長。その前向きな姿勢で公民館活動に長年取り組まれた功績から、令和5年2月に県政功労者知事表彰を受賞されました。



親子de葉っぱ寿司づくり



公民館まつりの様子



楽しんでくれるのが一番!



九頭竜川の館



まだコロナ禍で公民館まつりができなかった昨年度は、公民館全体を写真館に見立てた「おもいでな写真館」を開催。コンクールなどで入賞された方々の作品展示や、自分たちで家族写真を撮ってフォトフレームに仕上げるコーナーも設けました。また、地区の方から要望があった「九頭竜川の館」も開催し、鮎の塩焼きのふるまいや絶滅危惧種のアラレガコ講座、サクラマスを使った地元の伝承料理「葉っぱ寿司」づくりなどを行いました。今年度は「誰もが幸せを感じるおもいでな館」として、公民館まつりをはじめ様々な企画を開催しています。障がいのある方々や赤ちゃん連れのご家族にも来てほしいとの願いが込められています。松岡公民館の輪投げ大会やラジオ体操には、地元の御陵地区と吉野地区からはもちろん、上志比など他の地区からの参加もあります。みんな笑顔が一番!

「希望のひまわり 背高のつぼ大会」

永平寺町内の公民館で始まった「ひまわり背高のつぼ大会」は、今では町を挙げて開催される夏の一大イベントとなっています。特にコロナ禍以降は、「コロナ終息・世界平和を願う「希望のひまわり」として町内各地で栽培され、夏になるとその高さを競っています。公民館前で出迎えてくれたひまわりも、この大会にエントリーされているひまわりでした。

今年度、松岡地区では地域住民や小学校・グループホーム、芽出しをした農林高校など合わせて89本のエントリーがありました。開催期間中に3回、公民館職員が自作の測定器を手に各家庭を回り、高さを計測します。結果は、全てのエントリー花を順位・登録名・高さ・地区名を一覧にして公民館だよりに掲載します。計測日には玄関先で待っている方も多くいらっしゃるようで、住民と公民館との笑顔のつながりが感じられます。



堀江館長と希望のひまわり(品種タイタン)

人と地域の絆を紡ぎつながらる公民館

令和5年10月4日(水)

永平寺町 福井県立大学永平寺キャンパス 参加者240名



開会式典



表彰式



▲ 福井県教育長 豊北 欽一 氏



▲ 永平寺町長 河合 永充 氏



表彰受賞者の皆様

第72回福井県公民館大会は、福井県立大学永平寺キャンパスにおいて「人と地域の絆を紡ぎつながらる公民館」をテーマに、県内の公民館関係者が一堂に会し盛大に開催されました。

開会式典においては、福井県公民館連合会表彰18名、広報紙コンクール表彰12館の表彰が行われました。続いて、県教育長の豊北欽一様をはじめ、来賓の方々よりお祝いや歓迎の言葉をいただきました。閉会後は、広報紙コンクール審査委員長の福井新聞社編集局整理部 小島茂生部長からコンクールの講評がありました。

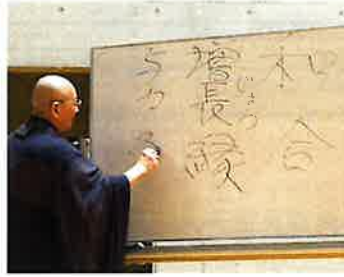
記念講演では、大本山永平寺副監院 西田正法老師を講師にお迎えし、「ご縁を頂く、ご縁を生かし、縁に生きる」と題してご講演いただきました。

西田老師は、この世の一切は他との関係性の上になり立っているのであり、私たちが今、生きていること自体、数えきれないほどの縁によって成立している」と語られました。

また、無駄な縁というものは一つもなく、全ての



アトラクション
バイオレットエコー



記念講演講師
大本山永平寺副監院
西田 正法 老師



縁を自分の捉え方、関わり方によって善縁として生かしていくことの大切さを説かれました。

公民館も日々たくさんの方々との縁をいただける場所です。縁を生かして、地域のつながりを広め、深めていききたいと、前向きになれるお話でした。

午後の部は、永平寺町で活動する合唱団「バイオレットエコー」によるコーラスで幕を開け、その明るく美しいハーモニーに会場内からは大きな拍手が寄せられました。



おおい町
佐分利公民館
国久館長・小原主事



続いて令和4年度文部科学省優良公民館表彰を受賞した2館の事例発表が行われました。

初めに、おおい町佐分利公民館の国久康宏館長が「歴史がたぐなく地域の心と絆」と題し、佐分利公民館生涯学習推進委員会を中心に8年もの歳月をかけて制作された、各集落の歴史や昔話、地域のこぼれ話を収めた冊子『さぶり物語〜歴史と昔話〜』について紹介されました。また、今後の展望として、読み聞かせを通して子どもたちの地域に対する愛着心を育てることで後世に語り継いでいきたいと語られました。



坂井市
大関コミュニティセンター
伊藤センター長



次に、坂井市大関コミュニティセンターの伊藤浩センター長が「子どもたちとつくる住みやすいまち大関」と題して、子どもたちと共につくる「大関助け合いのまちづくりプラン」と、朝市の開催や通学路の危険箇所チェック、環境を守る条例の策定事業など、その多様な取り組みについて発表されました。さらに、今後も地域の各種団体を巻き込んでまちづくりを展開していく意欲が高まっていることを語られました。

「人づくり」や「つながりづくり」は決して簡単ではありませんが、公民館は様々な挑戦に向き合い、地域と共により明るい未来を築いていくコーディネーターとしての役割を果たしていくことが大切であると実感する大会となりました。



令和5年度表彰受賞者 (敬称略)

全国公民館連合会優良職員表彰

坂井市兵庫コミュニティセンター
コミュニティセンター主事 森瀬美智子

東海北陸公民館大会表彰

鯖江市立待公民館 公民館主事 左近ともみ
鯖江市河和田公民館 公民館主事 上木奈美子

全国公民館連合会永年勤続職員表彰

福井市湊公民館 主事 平鍋 清美
福井市湊公民館 主事 番重 一美
福井市東安居公民館 主事 末廣 崇子
福井市啓蒙公民館 主事 南部まゆみ
小浜市遠敷コミュニティセンター
コミュニティセンター主事 高山 幸子
鯖江市吉川公民館 公民館主事 菱川美由紀
越前市花筐公民館 公民館主事 吉村 貴子
坂井市丸岡城のまちコミュニティセンター
コミュニティセンター主事 林田 悦子
坂井市大関コミュニティセンター
コミュニティセンター主事 石黒みゆき

上記の方々への表彰は、令和5年10月20日(金)、第45回全国公民館研究集会・第58回東海北陸公民館大会岐阜大会にて行われました。

福井県公民館連合会表彰

福井市社西公民館 主事 八木 恵子
福井市社西公民館 主事 長尾 陽子
福井市麻生津公民館 主事 柳川 和代
福井市啓蒙公民館 主事 竹下まゆみ
福井市岡保公民館 主事 青木加寿子
福井市東藤島公民館 主事 木村 雅美
福井市酒生公民館 主事 竹嶋 純子
福井市上文殊公民館 主事 荒川 美香
福井市社南公民館 前主事 吉垣 優美
小浜市内外海コミュニティセンター
コミュニティセンター長 野村 徳夫
鯖江市神明公民館 公民館主事 高島 美樹
鯖江市神明公民館 公民館主事 中嶋いづみ
越前市服間公民館 公民館主事 笠原 佳
越前市北新庄公民館 公民館主事 八田 暁子
坂井市磯部コミュニティセンター
コミュニティセンター主事 西山 弥生
坂井市春江中コミュニティセンター
コミュニティセンター主事 清水美那子
坂井市春江西コミュニティセンター
コミュニティセンター主事 永田 佳恵
高浜町青郷公民館 館長 山本 眞

福井県公民館広報紙コンクール 入賞館

Aコース

最優秀賞 若狭町瓜生公民館
『公民館だより 古墳の里瓜生』
優秀賞 坂井市高椋東部コミュニティセンター
『振媛の郷「たかとり」』
優良賞 福井市木田公民館
『木田地区広報誌 きだより』

福井県公民館連合会表彰、広報紙コンクール入賞館への授賞は、令和5年10月4日(水)、第72回福井県公民館大会の席上にて行われました。

Bコース

最優秀賞 鯖江市立待公民館 『立待ぶらり』
優秀賞 福井市文殊公民館
『こんにちは 公民館です!!』
小浜市内外海コミュニティセンター
『内外海だより』
坂井市三国コミュニティセンター
『まち協だより「392PLUS」』
優良賞 小浜市松永コミュニティセンター
『まつなが』
越前市味真野公民館 『安治麻野』
越前市服間公民館 『広報ふくま』
越前市北新庄公民館 『ふるさと北新庄』
坂井市竹田コミュニティセンター
『じょんころ』

「こうれんふくい」第92号

「発行」 福井県公民館連合会

〒918-8135 福井市下六条町14-1

福井県生活学習館2階

TEL/FAX (0776) 41-4077

E-mail f-kouren@kore.mitene.or.jp



WEB サイト



Facebook

「編集」

広報紙委員会

福井市東藤島公民館

木村雅美

坂井市浜四郷コミュニティセンター

武曾美紀

福井県公民館連合会事務局